

第8回 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会 議事要旨

平成26年7月23日(水)

13時30分～16時30分

伊勢市役所4階 大会議室

1. 開会

(事務局・県)

・定刻となりましたので、第8回電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会を開催いたします。本日は大変お忙しい中、また非常に暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。私、三重県環境生活部次長の岡本と申します。昨年度に引き続き、どうぞよろしく申し上げます。

・今年で協議会は3年目を迎えます。1年目は協議会において行動計画「おかげさまAction!」を作成いただきました。2年目は、行動計画を進めるための環境整備に皆様方にご努力いただいたわけですが、3年目に入りまして、これを増々充実したものにしていただきたいと思っております。

・本日は、これまでの取組の実績報告と、今年行う事業とスケジュールについて事務局から提案いたしたいと思っております。ご議論、ご提案などよろしく申し上げます。

(事務局・県)

・藤本伊勢市副市長からご挨拶をいただきます、よろしくお願い致します。

(伊勢市・藤本副市長)

・本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。先ほど、事務局から3年目という話がありましたが、平成24年8月にこの協議会が設立しました。これまで朴会長によりこの協議会をリードしていただき今日まで進めさせて頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、皆様には協議会の趣旨に賛同頂き、それぞれの立場でご尽力いただき感謝申し上げます。

・2年が過ぎましたが、順調に取り組みが進んできたと思っています。市では昨年8月に電気自動車を2台導入し、4月にはエネルギー棟を建て急速充電器を設置しました。急速充電器については、自動車メーカー、JTB等各団体のご協力で全国的に設置が進んでおり、伊勢市においても充電環境が整備されつつあります。

・伊勢のまちは神宮の森に囲まれたまちで、市の面積の約1/4を占めています。この豊かな自然を守っていくこと、また伊勢を観光で訪れた方に伊勢の取組を知ってもらって、各地に帰ってその取組を広げていただく、こういった意味からも行政としてこれからも一層力を入れていきたいと考えています。

(事務局・県)

・どうもありがとうございました。続きまして、この協議会の会長の朴様にごあいさつをいただきたいと思っております。

(朴会長)

・藤本副市長のすばらしい挨拶の後に挨拶するのは難しいのですが、私からはみなさんに一言「ありがとうございました」と、まだ終わっていないのでこれをどう発展させていくのか暑い中、頭はクールダウンして心を熱くして頂きたいなと思っています。

・式年遷宮という二十年に一回のこのチャンスをどのようにして環境が生きるまち伊勢と謳っていますが、鈴木市長はじめ皆さん、それが定着して環境と言えば伊勢となっている中で電気自動車、超小型等、乗り物を全部集めて伊勢を一つの大きなショーケースにして、優れた技術もさることながら伊勢市民の高い格式をどう見える化するの不安がありましたが、ここまで来れたのも副会長をはじめ地域の皆さんの積極的なサポートがなかったら出来なかったと思います。それから事業者の皆さんも伊勢の低炭素社会の事業にこれだけ力を貸してくれたという事で感謝しております。

・ひとつだけ具体的な例を見たいと思いますが、電気自動車あるいはキャラクターがコンセプトになっている乗り物、把握しきれないほどあるのですが、ひとつはピカチュウ電気バスについて、伊勢の皆さんがやっと国内初と言ってくれた事にもものすごく感謝をしております。何故か非常に謙虚で謙遜な方が多くて国内初だと言ってもなかなか国内初と言えないのは私のような人からみるともったいないなと思っていたのですが、我々の協議会のみなさんの力によるのではないかなと思っています。環境にいい街づくりにも、むしろこれからが大変だなという気がしますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

(事務局・県)

・どうもありがとうございました。

【資料確認】

・それでは、2 の報告に移らせて頂きます。ここからの進行は朴会長にお願いしたいと思っていますので、朴会長よろしくお願い致します。

(朴会長)

・本来なら議題が先で報告が後になるかと思いますが、今回は報告を先にさせて下さい。議題としては予算とか会計報告になるのですが何をしようという予算が執行されていて今後の予算になるのか考えて頂くには何をしたかという事を先に報告したほうがいいのかということです。報告が7つありますが、まず順番通りに議事次第に基づいた報告をさせて頂きます。

・まず小型EVを使ったモニターツアーについては伊勢市から。

(事務局・市) 資料説明 (木札配布)

(朴会長)

・ありがとうございました。この写真を見てもコムス、NTNがカッコよく走るのは今、報告がありましたが補足等意見を頂ければと思います。

(伊勢市観光協会 西村専務理事)

・今回事務局の方と一緒にツアーに参加させて頂きました、ご紹介頂いた通りですが小型のEVを使わせてもらってかなりのフットワークが出来て細やかな移動が出来、普段バス等で行って行けない所も行けて一歩踏み込んだ観光を体験して頂くことが出来ます。先ほど事務局からの話しもありましたが、もう少しプラスで何か魅力のあるものを作って行けたらな思い、事業とはあまり関係ないのですがモニターツアーの中に食事を絡めたものとか、さらに時間帯とか場所を設定してもう少し面白いモニターツアーが出来ないかと考えております。後からになりますますがEVだからこうできたというのが出来るかなと思います。

特に感じた事は小型のEVということで非常に動作音が少ないので朝早く、夜遅くでも人の話し声のが気になるくらいでした。そういったのにも使えるかなと思います。

(朴会長)

・ありがとうございます。その他にありますでしょうか。

本質的な事ではないかもしれませんが、これは(木札)誰が作ったのか幾らぐらいなのか。

(事務局)

・木札については参加して頂いた方に伊勢に来て記念にこういう物をもたらしたと感じて頂いて残るものということで、木の記念品だとなかなか捨てられにくくて印象に残るという事で作りました。予算的には焼印が15,000円くらいで、木札の材料が三重県産の尾鷲ヒノキですが1個205円それは県の予算で消耗品で買わせて頂いて、あとはNTNさんのほうで別途焼印を注文して現場で焼印を打つ作業が1個で50円かかるのですが市役所、NTNにご協力頂きまして観光協会でも現場で作成したものになります。観光で周って頂いた方に何か持って帰って頂ける仕掛けが出来ないかなと思います。

(朴会長)

・ありがとうございます。その他にありますか。

(伊勢おはらいまち会議 前田)

・いろんな物を作る中で記念品のどこかに「伊勢」という言葉があると非常に記念になるということを含めて、これから何かお考え頂くと非常にありがたいかなと思います。やっている人は伊勢の事業というのはわかるのですが、持って帰った時に伊勢であったということがわかると、伊勢のブランドは地元が思っているより強いと実感していますので是非よろしくお願いします。

(事務局・県)

・そのようにこれから新たな焼印を作りたいと思いますので、またご助言よろしくお願い致します。

(朴会長)

・ありがとうございました。その他にありますか。これはモニターツアーに2人で参加すると2人にあげるという事ですね。ありがとうございます。では「伊勢」というのも入れて下さい。

・それでは次に移らせて頂き全体的なところでみなさんに意見を頂きましょう。次は「EV等の普及・啓発の実施状況について」資料3です。

(事務局・市) 資料説明

(横浜ゴム 桜井室長)

・横浜ゴムの取組みについてお話しさせていただきます。私、横浜ゴムのCSR環境推進室の室長の桜井と申します。

・三重工場でタイヤを寄贈しております、三重工場から来た岡田が低炭素の協議会があるので、地域貢献で三重工場が伊勢市にあるので何かお役に立ちたいと私に言ってきました、そういう事ならやりましょうという事で私の名前で協議会に参加させていただいております。なかなか私自身機会がなく今回初めて協議会に出席させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。環境に関わる取組みをこの場を借りて紹介させていただきます。

(横浜ゴム) 資料説明

(朴会長)

・ありがとうございました。それではEV等の普及啓発に関して事務局と横浜ゴムから報告がありました。合わせて質問等ありますか。

・では私の方から、横浜ゴムだけではないですが、三重県は「みえ環境大賞」という大きな賞があります、毎年7月から募集をして9月頃までに応募頂いたのを10月頃ヒアリングに行ったり審査会で決めるのですが、大きく環境経営部門と環境活動部門というのがありまして、学校や、団体などは環境活動の応募となっており、企業の場合は両方環境経営部門でもいいですし環境活動部門でもいいですけれども今の説明だけでも立派な環境活動をしてらっしゃるので是非とも、環境生活部のホームページに大きく載ってますので、細かい申請書を出さないといけないということでもないので、是非とも「みえ環境大賞」にも応募していただいて、だいたい12月の第一土曜日、日曜日が多いのですが津市のメッセウイング等で環境フェアの会場で今日ここにオブザーバーでやっている三重県地球温暖化防止活動推進センターがフェアで県とコラボしてみえ環境大賞の受賞者の授賞式を知事が自ら出てきてしているのです是非とも応募して頂ければ、伊勢に関わる環境大賞になるのではないかなと一つお願いを兼ねて低炭素社会に関わったら大きな賞を貰ったというのはいいいことではないかなと思っております。

・もう一点は事務局の報告でクレームではないのですが、資料5ページの真ん中にARCというのがあり、6月初めに伊勢で世界宗教者会議で配った資料に「低炭素社会を作る」

を英訳をして我々が作った文章をそのまま日本語的な英訳をただけなのですが、これはちょっと恥ずかしいです。OKAGESAMA (Thanks) Action!は何とか納得して、地球温暖化対策に関する国連の会議とかではコンバットとかアゲインストとかになります。和製英語を使うと意味は通ったかもしれませんが伊勢市が世界に誇れるものとしてこれだけ素晴らしいプログラムをしてきたのならば英訳くらいは一流に任せてほしいなど感じますし、せめて相談していただければ書いてあげたのにというのが私が思うところです。

(事務局・県)

急遽作成するという事で協議会に参加している方にボランティアで英訳していただいてそれを事務局で確認させていただいたのですが、英語の専門の方に見ていただいてないのでこのようになってしまったのかなど。

(朴会長)

違います。英語の専門家じゃなくこの分野の専門家に見せないと。これは間違っしてあるという事ではなくて、英訳した人が悪いとかじゃなく、県がダメだったという事。

(事務局・県)

わかりました。また先生にお願いさせていただいて、英語の方ではなく専門分野で今どのような言葉が使われているのか確認させていただいてやらさせていただきます。ありがとうございます。

(朴会長)

すみません、では元に戻ります。その他にあれば、なければ次に進ませて頂きます。「伊勢商工会議所環境委員会の取組について」資料4ですよろしくお願いします。

(伊勢商工会議所 中村環境委員長) 資料説明

(朴会長)

ありがとうございました。ただいまの資料4に関して皆さん何かありますでしょうか。それでは次に「一人乗りEV「コムス」の運行状況について」伊勢市観光協会よろしくお願ひします。

(伊勢市観光協会 西村専務理事) 資料説明

(朴会長)

ありがとうございました。只今の報告について皆様何かありますか。では次に「超小型モビリティNTNの運行状況について」資料6です。

(NTN 松尾執行役員) 資料説明

(朴会長)

ありがとうございました。只今のNTNの報告で何かありますか。

では、ピカチュウ電気バスの運行状況について三重交通よろしくお願いします。

(三重交通 早川伊勢営業所長) 資料説明

(朴会長)

・ありがとうございました。資料7だったのですか皆様何かありますか。

・私の方から一つだけお願いをさせて頂こうと思っております。お願いする項目は二つあって一つは先ほど横浜ゴムの時にも話したのですが、これは事業者さんどなたでも当てはまることなのですが是非とも「みえ環境大賞」の、後になって考えてみるのではなく今すぐ手を挙げて応募していただければと思っております。いろいろなモデルになるようなのがいっぱい潜んでいるのが低炭素社会なので是非とも見えるか化していただくとありがたいです。

・それからこのピカチュウ、是非ともこれから式年遷宮の効果がまだあると思いますが、最近日中韓の関係が厳しいけれどもできればピカチュウの電気バスを中国語、英語、韓国語などにお金をかけずいい訳をする、訳したものをいくつかのバージョンを駅に着いたところに置かせてもらえば、乗ってくれる人も多国籍の多様な方々にも知っていただけます。私みたいな人から見るとピカチュウは世界的な漫画で、以前の県の観光キャラクターだったクレヨンしんちゃんは生意気なところがあるじゃないですか。手と手を繋いで森のようなところを歩いているポスターがありました。クレヨンしんちゃんて三重と全く関係ないじゃないですか、ポケモンとか三重に関わる人達がやっている世界的なブランドがあるにも関わらず、こんなに国際的なすごいものがありました。それだけピカチュウというのは世界的に有名です。これを上手く使って乗ってもらって伊勢、三重交通、横浜ゴムを知らせてもらって、これからもよく考えて活用よろしくお願い致します。ちなみにピカチュウとドラえもんは世界的なブランドだけどクレヨンしんちゃんはアジアで大人気です。

10月13日に伊勢市環境フェアの時にあの手この手を使ってアピールしていくのも一つの手だなと思っております

・もう一つ報告があります。充電器の普及状況について、これは事務局ですね。

(事務局・県)

・その前に少しだけ電気バスの関係で冊子をお配りさせていただいてますが、イセラという雑誌がありましてこれは三重交通さんのフリーペーパーの取材を受けて掲載されたもので8ページ、9ページにバスの記事が掲載されてます。あとバスマガジンというバスの専門誌の電気バス特集にピカチュウ電気バスがたくさんページで載っています。回させていただきますのでご覧ください。

・細かく広報をいろいろやっていきたいので子育て情報誌きらきらという水色の小さな冊子をお配りさせていただいてますがこれは県でページを持っている部分に子供達に知ってもらいたいとのことで掲載させていただきました。これは松阪・伊勢版とのことです北

勢・中勢版というのもありまして同じように掲載されていて子供が来るような施設、幼稚園などに配られているものになります、あと県政だよりの9月号にも記事は小さいですが掲載させていただく予定になってまして市政だよりの10月1日号に掲載する予定です。以上報告です。

それでは引き続きまして「充電器の普及状況」資料8の説明をさせていただきます。

(事務局・県) 資料説明

(事務局・市) 資料説明

(朴会長)

・ありがとうございました。これについて何かありますか。
・これに関しては私一つ言いたいことがあるのですが、上に黄色く塗られた所はすでに設置済みの所でどちらかというところ関係の会社があって、その下の14番の伊勢商工会議所からこれから設置予定で場合によってはJTBとの事業でやっていくということで非常にありがたいのですが、名称を入れていないのはまだ言わないで下さいというのでそうなのか。

(事務局) 三重県

補助金申請の手続き上、県が作っているビジョンの確認をする手続きがありまして、その手続き上知り得ている情報になります、行政だけが掴んでいる情報になるので国が補助金を出している機関のホームページを見ると住所は出てきますが名称は出てこないの、企業の情報ということで掲載はしております。

(朴会長)

いつ頃ハッキリしていくのかまだわかりませんか。

(事務局・県)

事務局としては情報は掴んでおりまして必要であれば説明させていただくのですが、ここでは…

(朴会長)

今この場でするのではなくて、難しいことするわけでもなくビジョンで開拓されていけばうちやりますと、お客さんにとってもショッピングセンターにEV車で行けば買い物も出来るしその間に充電も出来るのならいいねとか。名前を出しているいろんなところで知らされるじゃないかと言ってるんです。

(事務局・県)

先ほども少しだけ触れましたが今後、地図情報を作成してお知らせすると考えています、それぞれの充電器を設置しようとするところとは順次お話しをするよう事務局でしており

まして、出来れば近々設置とかそういう情報も地図に載せるようにしていきたいと思ってまして、データはこれから順次追加していきたいと思っております。またこういうピクトグラムの掲示も順次各施設を周ってお願いするという作業を並行してやっております。

(朴会長)

旅館A, B, C, Dはいろんな事を考えて手を挙げて頂いたのではないかなと思いますので、ある程度わかってきたときには旅館等に了解を得なければならないとか考えないといけないけれど、よろしくお願い致します。

報告事項ありがとうございました、引き続き議題に移らせていただきます。三つありますがまず一つ目「会計報告・予算案について」事務局よろしくお願い致します。

(事務局・市) 資料説明

(朴会長)

ありがとうございました。平成25年度の会計報告それから平成26年度の予算案でいかがでしょうか。

(NTN 松尾執行役員)

平成26年度の予算なのですが、後の議題の今後の取り組みにも関係してると思うのですが、私が聞いた所によると国土交通省運輸局のほうからは是非、超小型モビリティを地元で活用しいろんな体制整備に費用がかかるので全面的に国が支援をする体制をとっておりますので私どもの方には再三、国交省からは予算を使って下さいということで、まだ予算枠もたっぷりありまして二次募集もこれからありますので、まさに観光モデルコースを定期化させる為に高い人件費が必要であるとか車両の管理をするのも大変でしょうからそういう費用の為に国交省は是非使ってほしいと言っておりますので、平成26年度予算に絡めて検討いただきたいと思います。

(朴会長)

この次の来年度の取り組みのスケジュールや作業部会の設置で国交省の補助金活用が許されるのですか。

(NTN 松尾執行役員)

来年度ではなく国交省としては今年度使ってほしいと、来年度から実証事業が締めくくりになりますので2015年度は国交省としても電気自動車の補助金を続けるかどうかという決断に迫られると思いますので今のところ国交省や経済産業省はいろんな支援策を持っています、政府からは今年度の実証事業を加速して予算を有効に使ってほしいと言われております。

(事務局・県)

超小型モビリティの導入促進事業の補助金ということで昨年度コムスを購入した補助金と

同じ補助金ですが、車体の購入費以外に実証事業にかかる経費ということでアンケート調査をしたりまとめたりそういったものに二分の一の補助が出るとのことです。今のお話しは実証事業の部分で場合によっては人件費ということで検討ができるのではないかとご提案だと思います。

今現在、実証事業はNTNの伊勢駐在のスタッフの協力を頂いて、試乗会やモニターツアーのアンケート調査などを行っている、という状況です。

(朴会長)

これは県だけじゃなく市も限られた人数であれもこれもするのはとても大変なことだと思います、うまくスタッフを増やすなり委託してアンケート取るとか助かりますしそういった取り組みは今年度の取り組みスケジュールや作業部会で検討を進めるという考え方で理解してよろしいですか。

(事務局・県)

そうですね、協議会のスケジュールはそれぞれの取り組みの中で具体的にどうしていくか検討していき、その中で使えそうなら使っていくということになるかと思います。

(朴会長)

そうですね、一つのデザイン数を増やすという意味でも。平成26年度の予算に我々が持っているものは317万1873円そこから600万円の車を買ったらそれで全部終わりますが、そうでは無くこれをここでなんらかの形で使うというのを想定したところで資金を有効に活用する必要があります。

(事務局・県)

今後、作業部会の中で予算の執行が必要でとなつて、協議会で認められれば承認を得たうえで執行していく段取りになるかと思います。

(朴会長)

平成26年度もすでにかなり進んでいって、これから夏休みとなつて、どちらかというとなつた事業を展開することもさることながらうまく次のことも考えないといけないと時間的に厳しいものがありますので、平成26年度の私たちが手元に持っている部分、昨年度からの繰り越しの予算があるんですよというくらいの内容で、了承していただきたいということです、よろしいですか。

ありがとうございました。その次ですが「今年度の取組スケジュールや作業部会の設置について」資料10よろしくお願ひします。

(事務局・県) 資料説明

(朴会長)

ありがとうございました。質問はありますか。

(伊勢おはらい町会議 前田)

おはらい町会議の前田です、災害時のEVの部会でもありますし7月13日に進修地区防災訓練があり、地区の委員会のメンバーでもあり、経験した中で感じた事と自分が委員会に居ながらも少し努力してやり方を考えていけばよかったなという反省を込めてお話しさせていただきたいと思います。EV車を持ってきてそこで展示をしていただいているのですがそういうのに興味がある方は現場へ行けるということで防災訓練をしている方にとっては少し色が違うといいますか、わかりにくい状況なんだと避難訓練側の人間として感じました。うちのところでは温暖化ですのでテントを置いてイスを並べて休憩所を設けました。そこで扇風機が回っていたのであれをそのテントの所へ持っていけばこれって自動車も電気で回っているんだよね、と逆方向で電気自動車の方へ流れが見えるのではないかなと、受ける側からすると動いている電力のある方から見せた方が使う側のイメージが湧きやすいのではないかなと現場にいて感じました。冬場でしたらポットで沸かしてコーヒーを入れたり、お湯は電気で湧いているのよとお話しをしながら提供していくことで電力というのは災害時に自分の家族を守れるものになるんだと見える化していくことが普及につながるのではないのかと、立場を違えて参加したことで感じさせていただきましたのでこれからこういうことが必要ではないかなと思進めていきたいと思います。

(朴会長)

大変重要な話なので早速10月13日の伊勢市環境フェアでやってみましょう。私の方から、去年伊勢市の環境フェアに参加して感じたのですが、名前は環境フェアなのですが労福協のイベントと共催です。ステージの上で時間を頂いてデザインの優秀賞とかの表彰式をさせていただくところに使わせて頂いてEV車とか非常に多かった印象を受けたのですが今年は伊勢環境フェアを13日にサンアリーナで開催されるので、いまおっしゃられた事が環境フェアだから出来る、生活などすべて伊勢に関わる方々が集まるのですから、何かアピールとして考えるものありますか。

(伊勢市 坂本環境生活部長)

会長おっしゃられましたように10月13日環境フェアの開催を進めております、今のところ三重交通と協議をさせていただいているのですがピカチュウバスを会場に持ってきていただいて乗車も含めていろいろ楽しんでいただくというふうに考えております。それと前田会長よりご提案いただいた防災の件、電気自動車を利用して再度環境フェアでデモンstrーションというご提案を頂きましたので早速検討したいと思います。先ほど会長もおっしゃっていただいたようにピカチュウですがポケモンとお話しさせていただいて何かイベントが出来ないかなということも考えております。その辺については県と相談させていただいて進めていきたいと思います。環境フェアに多くの方が来ていただいて環境問題についていろいろ考えて頂く大きな場が出来たらと考えておりますので今後ともご協力よろしくお願い致します。

(朴会長)

意気込みがないと、ここに来ている方々は遠くから何しに来たのかと思う。伊勢市環境フェアはまさにこのチャンスを利用しないと出来ないと思っているので、去年はメインステージにお願いをして表彰式をやりました。今回もメインステージの内容が決まりかけているのだと思いますがその中でピカチュウとかなんでもいいですがなんらかの形でEVでモニターツアーをやりましたが非常に良かったとか、新しく何かをしましたとかそういう事をみんなに伝えるようなイベントなりステージの上でやるぞという事があるのかどうか。ピカチュウが来るのが一番ありがたいのですが、モニターツアーしてどうだった、コムスがどうか我々は共用できるけど来ている方々は短い期間でありながらもステージで伝えていく工夫しながらやりましょう。そういうのがまた決まってないならありがたいのでどんどん食い込んでやってもらいたいのですが、可能ですか。

(伊勢市 藤本副市長)

朴先生、みなさんもそういう思いで賛同して頂いたとっております。先ほどの環境フェアの話ですがどこにアクセントをアピールを置いているか、姿勢としては出来ることは何でもやっていくという姿勢でやって行きますので、具体的なことは申し上げられませんが先生と同じ心でやっていきます。

(朴会長)

これ以上は申しません。期待しますのでよろしくお願い致します。事務局として何か協力求めたいとか、あなた達も汗かけよということがあれば言ってください

(事務局)

観光プランについてはこれをものにしていくのに皆様の知恵をいただき一緒に参加していくということでもう少しやっていただければなと思いますので、旅行代理店と話しをして知恵を頂いたり企画したらいいんじゃないかと専門家の立場からアドバイスを頂いたり近鉄さんとかバス協会さんとか、公共交通機関と連携して何かできないか、旅館さんと一緒にタイアップしてこれまでもやっているのですがなんらかの形にして実行できるものとして進めていければもう少し何か今後に残るような取り組みになっていくんじゃないかというところ、EVの普及についてここが本筋のところだと思いますので自動車メーカーにも今後いろいろ取り組んでいる事例があると思いますのでどうしていくのか知恵をまた頂きたいと思います。地元の方にも電気自動車の良さを知って頂いてそれを普及するという事を皆さんで協力してやっていきたいと思います。

(朴会長)

伊勢市の商工会議所の副会頭でもありこの副会長でもある菊川さん、どうぞ。

(副会長)

今日少し残念なのが報告が少し多かったような気がします、協議会ですからこれから先に何をやっていくのか、次回の協議会について我々が協力していくとかみなさんの意見は広

く聞いていただきたかったなと感じました。前田さんが雰囲気を変えて頂いたと思っています。昨年の非常に大きな成果についてはピカチュウ電気バスを三重交通がご決断頂いたことですか。レジ袋検討会からコムスを提供頂いたとか。これからはアクションを起こしていく上で急速充電器、普通充電器の設置状況を明らかにして広く使っていただくためにはどうしていくべきかあるいは啓蒙活動等こういったフェアの為にはそれぞれの取組が可能であればアンケートみたいなことを皆さんにお願いをし、あと予備費が二百数十万あるとのことですので、使ってこそその予備費だと思いますので、次回の協議会くらいまでにはこんなことに使うことになったと。ただ保険の支出だけで終わってしまうのでは活動費として少し寂しいと思います。

(朴会長)

ありがとうございます。それでは超小型モビリティ実証事業について、NTNからお話し頂きたいと思います。

(NTN 松尾執行役員) 資料説明

(朴会長)

ありがとうございます。時間は限られていますがNTNの超小型モビリティの2台が10月頃に静岡と桑名に行ってしまいます。一つ松尾さんに教えて頂きたいのですが桑名がしているスマートライフは何をしようとしているのですか。

(NTN 松尾執行役員)

地元の住宅地が入札して中部で初めて新しい住宅全部にソーラーを入れまして、その蓄電管理をします。超小型モビリティの車庫を入れてソーラで充電するようにしてその住宅に住んで頂く方にシェアリングをするという試みで、桑名の買い物難民といいますか駅から遠いというのと皆さんだいたい2台持っていて1台はハイブリットとか長距離を走るタイプでもう1台は子育て支援とか病院とか駅、買い物に使い、あとは観光モデルコースでモニターツアー、まさに伊勢参りの休憩地点の観光地でもありますので、それに超小型を是非入れたいということです。

(朴会長)

ありがとうございます。皆様何かご意見はありますか。これは超小型モビリティを私達はいい形で運用していくのか、それに尽きると思います。

(事務局・県)

今、モビリティが9月頃までに段々と減っていくとのことですがまだまだ空いてる時間がある車両もありますので是非乗って頂きたいと思っております、お近くの方にお声掛け頂いて1週間なり短期の試乗でNTNの方で貸出しておりますので。今はなかむら建設さんにお世話になりましていろいろ声をかけていただき試乗しているのですが、まだまだ使っていただけます。今あるものを有効活用して行きたいと思っております。

(朴会長)

もう一つ駐車場なりシェアリングができる

(事務局・県)

本格的なシェアリングとしてはそこまで取り組んで行けないとのことですので、試乗をして講習会を受けて頂いた方を中心にシェアする形で、必要な方は使っていただくということを年度後半に始めたいなと思ってますが、それは体制も含めて検討していく必要がありますので今は何も申し上げることはできませんが、皆さんで環境にいい車両をシェアして1日なり数日なり使っていただけるような、観光に使っていただくなり業務に使っていただくなり公用で行政で使うのもいいでしょうし観光協会や商工会議所に使っていただくのもいいのですが、会員も含めてこのメンバーでシェアしていくのがいいのではないかと思います。

(NTN 松尾執行役員)

作業部会の議論を二つに分ける必要があるかと思えます。一つは最終的な百台、数百台伊勢市にシェアリングしながらおかげさまツアーが定着するようになると、タイムズ24が言われたように地元が無料で数百メートル置きに貸出の拠点がないと不可能ですのでJRとか近鉄の駅前に広大な市の敷地もあれば県の敷地もありますので大きな絵を描かないと無理だと、それを是非絵を描いて頂いて、これは大きな取組となります。ただし最初の実証ステップはそんなこと言っても始まりませんので数台を現実的にアレンジしやすい場所に、ちょっとわかりやすい場所があるのかなのか、現実的な第一歩を踏み出していきたいと思えます。もう一つ大きな議論は私も信念をもって申し上げていますが私どもは超小型モビリティのメーカーではございませんので車をどんどん作るのは考えていません。したがって地産地消の車両を、三重県のベンチャーの方と制作して、ユーザーの視点からしますと今日は天気がいいからオープンカー、今日は1人だからコムスの1人乗り、あと三人だったらアイミーブもしくはリーフに乗りたいたいと、今日は天気がいいし自分は若いから電気自動車乗りたいとこれがバラバラの拠点だったらユーザーの人はがっかりしますよね、コムスの貸し出しも超小型の貸し出しも出来れば同じようなシステムで、おそらくトヨタさんも2人乗りを始めましたので1人ではなくて2人ほうにシフトしております。貸出拠点がバラバラになってしまったら使えないものになってしまいます。それを市の中で体制を取って、これは環境だけではなく地域の公共交通政策にも絡みますのでしたがって市長のリーダーシップはものすごく求められるので。是非、環境交通政策としてJRに乗ってくる、近鉄に乗ってくる人が着いたらバスに乗るコース、EVに乗るコース、歩くコース、この辺の議論をしっかりとトップのリーダーシップを取られる方が行っていたきたい。したがって、環境交通政策としてどうやってやるかがもっとも重要なポイントで、その中に超小型なりEVなり電気自転車なりが入っているという事を是非考えていただきたい。

(朴会長)

ありがとうございました。部会のあり方についても検討が必要かなという気がしますが、一つだけここでみなさんに大きな成果をあげて課題もありながらもやっていく、低炭素社会の事業に、桑名のスマートライフ事業もやっていくという形で取組がプラスにならないかなと思います、そういう面では私たちも少しスピードアップすることと、それから協議会とか部会だけの議論とか、桑名のプロジェクトが私たちに刺激剤になってどのように次のステップに行くのかを思ったより早い段階になったと、来年度なのかなという気がしたのですが平成26年度の後半にはそうなっていくとのことで、それだけ今までの実績がすばらしかったということもあろうかと思しますので次の協議会が10月、8月は少しは休みを取ることも必要だと思いますが、次の10月においては具体的にどのステップにいけばいいのか、皆さんの知恵を絞るという時間をたくさん設けたいと思っております。NTNの松尾さん、いい刺激をいつも与えていただいてありがとうございます、伊勢で頑張ってきたNTNの1台が桑名、静岡に貢献できる。私たちはまた次のステップに行きましょう、私達が次に集まるまでにそれぞれのみんなの役割を果たしつつ、もっと考えてというのがあれば言ういただければと思います。その他に何かありますか

(事務局・県)

先ほどお話ししましたが観光プランのところで知恵なりいろいろ頂戴したいとのことで。それはモニターツアーをやって行くなかで、こうしたらいいんじゃないかというのがあれば積極的にご意見頂きたいと思えます。モニターツアーの状況も随時メールでお知らせさせて頂いておりますのでそれに反論して頂く形でも結構ですのでご意見頂きたいと思えます。それから先ほどEVの普及の関係は何回も知恵を絞ってもらうような、普及策を検討して頂くような作業部会を設置していきたいと思っておりますので、またこちらからお声掛けをさせていただきますが、それ以外の方からも随時ご相談いただいてEVの普及に向けてまたご協力頂きたいと思えます。

(朴会長)

ありがとうございました。何もなければこれで終わらせて頂きますが。

(事務局・県)

すみません、日産さんのほうから新型EVのご紹介と、三菱さんのほうからPHVのご紹介をお願いさせていただきます。

(三重日産自動車販売 長岡取締役)

電気自動車の新型が出ましたのでご紹介させていただきます。お手元にカタログをお配りさせていただきましたが、日産から電気自動車第二弾という事でe-NV200ということでこの商品は商用車が中心となります。ガソリンではすでに販売していますが、これの電気自車版がでます。バンと一部ワゴン車もあります。この商品の特徴としては荷物も電気も運べる。4つほど特徴がございます。1つはEVとのことで環境に優しいゼロエミッション。2つ目は新しい価値観を出す。3つ目は快適な運転性、室内空間。4つ目は経費削減でございます。もう少しだけ掘り下げて話しさせていただくと1つ目のゼロエミッションに

関しては排出ガスゼロということでCO₂を出さない車となっておりますがこの車の特徴としては走行距離は若干リーフよりは少なくなります。190Km走れます。公用車の使用量としては一日だいたい100Km未満かと思しますので190Kmだと十分かと思えます。2つ目の走る蓄電池ですがリチウムイオン電池が載っておりますが、環境フェアの時に間に合えば持ってきたと思います。10月の末に発売の予定です。また、蓄電池で1500W出すことができます。3つ目は商用車でありながら電気を床下に置いたことにより広い空間があります。電気自動車とのことで低速でトルクがあり、スピードが最大限出ます。電気自動車なのでスムーズに走っていくことができます。4つ目ですが、の経費削減の話ですがあくまで目安ですが、一番安い所で400万円を超えてくるような本体価格になっておるのですが、国の補助金が85万円ほどでると聞いてますから、実質300万前後かなと。300万でも非常に高いなと皆さん認識を持たれるかもしれませんが、購入の時は安くても維持費を考えると、8万キロくらい乗って頂ければ今度は税金とガソリンで逆転してしまうんです。8万キロだと4か5年で乗ってしまうのではないかなと。先ほどNTNと話しがありました但我々の計算では、ざっくり8年乗ると100万経費が浮いてくる、10年乗ると150万ガソリン車を使っていたより経費が浮いてくるということになります。ご検討よろしくお願ひします。

(三重三菱自動車販売 谷奥)

お手元にチラシ1枚置かせて頂きました、これは世界初の4WD PHVアウトランダーです。1泊2泊は無料で実施期間が年末までとなっておりますので是非この機会にゆっくり試乗体験して頂ければと思っております。伊勢の方ですと小俣店が電気自動車の窓口となっております。

(朴会長)

- ・ありがとうございました。予定していた時間を少しオーバーして申し訳ありません。
- ・それでは、今日の議題すべてが終わりました。ありがとうございました。事務局にお渡しいたします。

5. 閉会

(事務局・県)

・長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。これをもちまして第8回の電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以上